

えいごであそぼう 11



(報告 Nancy 中山) 2022.11.7

今日も楽しく英語で遊びました。

How are you? Hello Song	元気にご挨拶(^_^)
Rock Scissors paper	グーチョキパーで何作ろう?の英語版。Butterfly チョウ snail カタツムリ、crab カニ、lion ライオン Rabbit ウサギ etc
フォニックス	L から O まで、ネイティブスピーカーの後について発音しました。少し長い単語も頑張って真似っこしていました。
Number	数を見ながら英語で発音。 知っているお友達は積極的に発音できました。 20迄カウントしました。 その後音楽に合わせて一緒に発音。Can you count 20?
How old are you?	I' m six, five, four. 「先生何歳だと思う?」という愛先生の質問に、「12歳!」と答えていたO君(笑) Nancyも後で聞いてみたくなりました。
Flash card	発音しながらハンパないスピードでカードが進みます。
Head shoulders knees toes	英語の手遊び
トランプであそぼう	アルファベットの神経衰弱を。

Nancy のワンポイント英会話⑧ ～have の活用②～my teddy bear has～

活用術 2 : 目的語が性質や属性、人の身体的な特徴の場合

“have”は、人の体の一部や身体的特徴でもよく使います。

「持つ」でも意味は分かりますが、言い換えた方が、より自然な日本語になります。

<例>

“She has beautiful hair.”

直訳：彼女は美しい髪を持っています。これは、「彼女の髪は美しい」と言い換えると自然ですよね。また、風邪や病気などの「患う」、「かかる」、「苦しむ」といった目に見えない身体的特徴にも、“have”はよく使われます。

先々週、さらし柿を佐々木酒店さんにいただきました。

しぶ柿とあま柿の形はどう違うか? M君、「あま柿はひしゃげちゅうけど、しぶ柿は丸い。」「先が尖っちゅう」「ハートの形」等の意見あり。しぶ柿に焼酎をふりかけて陽に当てるとさらし柿となり、不思議と甘くなること、K君が「干し柿」を知っていたので干したら甘くなることも教えて貰いました。早速干し柿を作ってみたいと思います。ぶどう組のお友達は今日のおやつで(購入した)さらし柿を頂いています。

活用術 3：目的語が食べ物や飲み物の場合

目的語が食べ物の場合にも“have”はよく用いられ、さまざまな意味になります。

<例>

“I have an apple.”

直訳：私はリンゴを持っています。

“have”のイメージが「リンゴを手を持つ」の場合は、上記の意味になります。

さらに、“have”本来のイメージをふくらませると、「食べる」、「飲む」でも使えます。

その場合は、「私はリンゴを（体内に）取り入れます」という意味になり、自然な日本語に直すと「私はリンゴを食べます」になります。

<例>

“I had a big breakfast this morning.”

直訳：私は今朝、大量の朝食を体内に入れました。

これは、「私はたくさん朝食を食べました」となります。

また、レストランで料理を注文するときに、メニューを指さしながら“I have these pancakes.”と言いますが、「私はこのパンケーキを食べます」の意味からさらに、「このパンケーキをお願いします」になることもあります。

料理や食事のほかにも「体内に取り入れる」ということから、ドリンクなら「飲む」、タバコなら「吸う」、薬なら「服用する」という意味になります。

最初にお伝えした「有形・無形のものを持つ」のイメージを持っていれば、スムーズに理解することができるはずです！

活用術 4：目的語が無形（目に見えない）の場合

幅広い意味で「持つ」という意味をイメージする“have”。

その目的語は、兄弟や食べ物など活用術 1～3 で紹介した目に見える場合だけではなく、状況や時間、感情、能力、人柄など目に見えない場合でも使えます。

目的語が無形（目に見えない）の場合、“have”の意味は、さらに多彩に展開します。

<例>

“I’m going to have a party.”

直訳：私はパーティーを開催するつもりです。

目的語がパーティーや会議などの場合は、「私はパーティーがあります」から、「私はパーティーを開催します」になります。

そのほかにも、目的語が、電話なら「受ける」、「もらう」、授業やレッスンなら「受ける」、「受講する」、休暇なら「とる」となります。

さらに、時間なら“time”の前に形容詞を付けて“have a good time”のように「(良い時間を) 過ごす」です。

“fun”、“fear”、“a good idea”など、感情や考え、意見を“have”と組み合わせる場合は「楽しめます」、「怖いです」、「良い考えです」になります。

活用術 5：主語が物事の場合

日本語の主語は基本的に「人」ですが、英語では「物事」になることも度々あります。直訳でも意味はつかめませんが、「物事」が「持つ」という表現は日本語では違和感があるので、“have”を「ある」、「備え付ける」、「搭載する」などの意味で使います。

<例>

“The room has three windows.”

直訳：その部屋は3つの窓を持っています。

“The computer has a speaker.”

直訳：そのパソコンはスピーカーを持っています。

それぞれ前者は「その部屋には窓が3つあります」、後者は「そのパソコンはスピーカーを搭載しています」になります。



YouTube